

北海道センターの中川 充氏が 環境省第 38 回温泉関係功労者に表彰されました



令和元年7月10日(水)、第38回温泉関係功労者環境大臣表彰の表彰式が環境省で行われました。この表彰は、温泉の保護、温泉の採取等に伴い発生する可燃性天然ガスによる災害の防止、温泉の適正利用に関し、特に顕著な功績があった人などを対象として、その功績をたたえるため、昭和57年度から行われています。このたび、中川 充氏(北海道センター産学官連携推進室シニアスタッフ)が表彰されました(第1図)。

中川氏は、昭和63年4月に通商産業省工業技術院地質調査所へ入所し、6月に北海道支所に配属されました。その後、平成13年4月に(独)産業技術総合研究所北海道センター北海道地質調査連携研究体へ配置換えされ、さらに平成17年4月に北海道産学官連携センターへ配置換えされ、平成29年3月に定年退職後、同所にシニアスタッフとして勤務されています。

中川氏は、地質・鉱物資源の研究に長きにわたり勤しまれ、平成13年3月に「北海道地質ガイド」(注)を出版するなど北海道の地下資源の分野に精通し、北海道環境審議会温泉部会の専門委員として参画する基礎を築かれました。平成16年からは北海道環境審議会温泉部会専門委員として、平成22年からは北海道環境審議会委員及び同審議会温泉部会の部会長として、平成30年までの間、温泉行政の推進に貢献されました。

北海道は、湧出量こそ全国一位の大分県に及ばないものの、温泉地数や延宿泊利用人数では一位を誇ります(環境省平成29年度温泉利用状況、2019年9月5日確認)。近年のインバウンド需要や地熱発電開発も相まって年間40件前後もの申請を審議したそうです(例えば、北海道環境審議会温泉部会、2019年9月5日確認)。大地の恵みである温泉の理解に地球科学的視野は不可欠ですが、産業界や世間一般では特別に意識されていないかもしれません。中川氏が功労者として表彰されたことは、地球科学の成果普及においても、大きな意義があったと思われます。

中川さん、おめでとうございました。そして、お疲れ様でした。



第1図 表彰者の記念写真(中川氏は後列左から3人目)

(産総研 地質調査総合センター 地質情報基盤センター 森尻 理恵)

注) 北海道地質ガイドは平成14(2002)年に第2版が出版されました。 https://www.gsj.jp/Map/JP/cd_dvd_list.html, 2019年9月5日確認